

## あ い さ つ

平成24年度大分県基礎・基本の定着状況調査（小学5年）のアンケート結果によると、『朝食をきちんと食べている。』については、「とてもあてはまる」が77.6%で県より+0.6ポイントとややプラスでした。また、中学2年生は、『朝食をきちんと食べている。』については、「とてもあてはまる」が75.0%で県より-4.4ポイント低い結果が出ました。

学力向上・体力向上について考える際に、朝食をとることは不可欠です。

その一環として、「早寝・早起き・朝ご飯」等の基本的な生活習慣を定着させるために家庭の果たすべき役割は大きく、家庭と学校が連携をとりながら取り組む必要があります。

平成17年に「食育基本法」が制定され、それを受け大分県でも平成21年までに栄養教諭が各市町村に配置されました。

これを踏まえ、九重町でも九重町第4次総合計画第5章「ともに支えあいきいきと暮らせるまちづくり」の健康・福祉の向上健康づくり<主要施策>の中で、食育の推進について「家庭における食育を推進するとともに、地域における食生活改善を推進します。」「関係機関と連携し、食文化継承のための活動を支援します。」を掲げながら、町全体で取り組むことが確認されています。

学校においては、教育課程にきちんと位置づけ「食育」の指導計画に基づいた「食育」を推進しています。

しかしながら、朝食の欠食や給食の残さい・食に関する関心等に課題がありました。

そこで、今年度は、野上小学校を拠点校とし、栄養教諭と連携をとりながら指導・助言を受けることにより九重町内の小学校（5校）と中学校（4校）が協力校として2回以上の「食育」授業を行うことができました。実践の中には、保護者や地域の方々にゲストティーチャーとして協力をいただきながら取り組んだ事例もありました。

各校の実践により、今後「各教科での指導」や「家庭や地域との連携」等更なる「食育」の充実を図ることが期待されます。

最後に、『栄養教諭を中核とした食育推進事業』実践の取り組みについて、ご支援ご指導いただいた大分県教育委員会並びに日田教育事務所をはじめ地域の方々に深くお礼を申し上げます。

九重町教育委員会  
教育長 古後 粒勝